



平成31年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年8月9日

上場会社名 株式会社 キョウデン
コード番号 6881 URL <http://www.kyoden.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森 清隆
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 荒井 秀明

TEL 03-5789-2273

四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	13,975	3.0	1,128	73.3	1,075	67.2	822	69.8
30年3月期第1四半期	13,566	1.6	651	28.9	643	324.5	484	1,680.2

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 819百万円 (76.2%) 30年3月期第1四半期 465百万円 (1,067.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	16.56	
30年3月期第1四半期	9.75	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	44,818	15,199	33.8
30年3月期	44,409	14,727	33.1

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 15,149百万円 30年3月期 14,681百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		7.00	7.00
31年3月期					
31年3月期(予想)		0.00		5.00 ~ 7.00	5.00 ~ 7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	56,700	0.2	4,000	31.5	3,900	22.7	2,600	12.7	52.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	52,279,051 株	30年3月期	52,279,051 株
期末自己株式数	31年3月期1Q	2,592,812 株	30年3月期	2,592,811 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	49,686,239 株	30年3月期1Q	49,686,330 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善が続き、個人消費や設備投資にも増加の動きが見られる等、緩やかな回復傾向が続いております。一方で、資源価格の上昇、人手不足の深刻化や米国政権の経済政策による国際的な貿易摩擦への発展など、不安定要素による影響が懸念され、景気の先行きに不透明感も出てきております。

当社が属するプリント配線板関連分野においては、車載関連向けや設備投資の増加による産業機器向け等の需要が堅調に推移いたしました。

このような環境のもと当社グループにおきましては、電子事業におけるプリント配線板関連分野の受注及び生産が国内外において好調だったことや、工業材料事業においては公共事業の需要の高まりにより混和材関連の分野において好調であったことなどから、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期比3.0%増の13,975百万円、営業利益は前年同期比73.3%増の1,128百万円、経常利益は前年同期比67.2%増の1,075百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比69.8%増の822百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(電子事業)

電子事業におきましては、プリント配線板の材料となる銅張積層板のコストアップが懸念されましたが、国内において当社の得意とする試作開発の小ロット案件の受注が好調に推移したことや、内製化による原価低減、自動化設備による生産性向上、実装ラインの集約効果が部分的に表れるなど、また、海外においても主として車載関連を扱うタイ工場の業績が引き続き順調に推移したことから、売上高は前年同期比2.5%増の10,989百万円、セグメント利益は前年同期比130.8%増の851百万円となりました。

(工業材料事業)

工業材料事業におきましては、国内外景気の緩やかな回復基調の持続を背景として全般に販売は堅調でしたが、一部の主力製品・商品において顧客製造設備の定期修理の実施や納期が後倒しとなったことで出荷が前年を下回るものがありました。その結果、売上高は前年同期比5.1%増の2,986百万円を確保できましたが、セグメント利益は製品構成が変わったことで前年同期比1.7%減の277百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は44,818百万円となり、前連結会計年度末に比べ409百万円増加しました。主な増加は、現金及び預金の増加283百万円及び有形固定資産の増加155百万円であります。

負債の残高は29,619百万円となり、前連結会計年度末に比べ62百万円減少しました。主な増減は、支払手形及び買掛金の増加464百万円、借入金の増加458百万円、社債の減少160百万円、未払法人税等の減少428百万円及び賞与引当金の減少385百万円であります。

純資産の残高は15,199百万円となり、前連結会計年度末に比べ471百万円増加しました。主な増加は、利益剰余金の増加474百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の業績予想につきましては、平成30年5月15日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は、業況の変化等により、予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,828	5,111
受取手形及び売掛金	17,401	17,246
商品及び製品	1,491	1,881
仕掛品	1,811	1,916
原材料及び貯蔵品	2,744	2,528
その他	450	394
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	28,720	29,072
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,093	4,086
その他（純額）	8,758	8,920
有形固定資産合計	12,851	13,007
無形固定資産	229	209
投資その他の資産		
その他	2,766	2,689
貸倒引当金	△158	△159
投資その他の資産合計	2,607	2,530
固定資産合計	15,688	15,746
資産合計	44,409	44,818

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,317	7,781
短期借入金	6,427	6,042
1年内償還予定の社債	520	430
1年内返済予定の長期借入金	2,287	2,405
未払法人税等	586	157
賞与引当金	535	149
その他	3,550	3,648
流動負債合計	21,224	20,615
固定負債		
社債	730	660
長期借入金	3,747	4,473
役員退職慰労引当金	8	8
その他の引当金	80	80
退職給付に係る負債	2,565	2,589
その他	1,325	1,192
固定負債合計	8,457	9,004
負債合計	29,681	29,619
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,358	4,358
資本剰余金	4,174	4,174
利益剰余金	7,300	7,775
自己株式	△491	△491
株主資本合計	15,341	15,816
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	53	68
繰延ヘッジ損益	△1	△1
為替換算調整勘定	△703	△728
退職給付に係る調整累計額	△8	△6
その他の包括利益累計額合計	△659	△667
非支配株主持分	45	49
純資産合計	14,727	15,199
負債純資産合計	44,409	44,818

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)
売上高	13,566	13,975
売上原価	11,407	11,333
売上総利益	2,159	2,641
販売費及び一般管理費	1,508	1,512
営業利益	651	1,128
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	3
受取賃貸料	10	10
持分法による投資利益	—	7
為替差益	26	—
その他	13	14
営業外収益合計	50	36
営業外費用		
支払利息	37	14
持分法による投資損失	5	—
為替差損	—	55
その他	15	20
営業外費用合計	58	90
経常利益	643	1,075
税金等調整前四半期純利益	643	1,075
法人税、住民税及び事業税	72	134
法人税等調整額	82	113
法人税等合計	155	248
四半期純利益	487	826
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	484	822

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月 1日 至 平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年4月 1日 至 平成30年6月30日)
四半期純利益	487	826
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	14
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	△17	△24
退職給付に係る調整額	△0	1
持分法適用会社に対する持分相当額	△4	—
その他の包括利益合計	△22	△7
四半期包括利益	465	819
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	462	815
非支配株主に係る四半期包括利益	2	4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子事業	工業材料 事業			
売上高					
外部顧客への売上高	10,724	2,841	13,566	—	13,566
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,724	2,841	13,566	—	13,566
セグメント利益	368	282	651	△0	651

(注) 1. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去△0百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子事業	工業材料 事業			
売上高					
外部顧客への売上高	10,989	2,986	13,975	—	13,975
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,989	2,986	13,975	—	13,975
セグメント利益	851	277	1,128	△0	1,128

(注) 1. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去△0百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。